

NPO PAO ANNUAL REPORT 2019



NPO法人ぱお 事業報告書 2019

事業報告書 2019

目次

| | |
|-----------------------|---|
| Message (ごあいさつ) | ① |
| 放課後等デイサービス事業 | ② |
| パオパオくらぶの一日 | ③ |
| 移動支援・居宅介護支援事業 | ④ |
| 障がい児・者家族サポート事業 | ⑤ |
| 地域専門家育成事業 | ⑥ |
| 障がい児・者啓発事業 | ⑦ |
| 会計報告(2018年度) | ⑧ |

Message (ごあいさつ)

放課後は人間関係を広げる大切なきっかけになる



NPO法人ばお
代表 木屋 英二

障がいを持つ子どもたちは、一般の放課後児童クラブに通うことがあまりできないのが現実です。友達とトラブルになったり、怪我をしてしまう可能性が高いと判断されるからです。たかが放課後と思われるかもしれませんが、子どもたちにとって放課後や休日は、学校でできないことを経験したり、さらに人間関係を広げる大切なきっかけになります。

障がいがある子どもだからこそ、公園でたくさん遊んで、バスに乗って、お店でお買い物をする練習が何度も必要になります。一度で覚えられなければ、何度か繰り返すことで、子どもたちはできるようになっていくのです。そして、ばおでできるようになったことは、やがて家庭や学校へと浸透していきます。ご家族から、「久しぶりにパン屋さんに行ったら、パンを選んで、上手に並んで買うことができるようになりました。」といった嬉しい報告をいただくこともあります。

以前は、保護者の皆さまが学校からばおまでの送迎を行っていましたが、共働きのご家庭の増加や子供たちの成長などに伴い、ご家族の負担が大きくなっています。そこで、ばおのスタッフがヘルパーとして、子どもたちを学校からばおまで送迎する事業を立ち上げました。ばおでは、専用車両で送迎するのではなく、

あえて電車やバスなどの公共交通機関を使って移動するため将来、子どもたちが自分だけで外出するきっかけにもなっています。放課後に次いで、保護者の皆さまがお困りなのは休日の過ごし方ではないでしょうか。「人に迷惑をかけるので、混んでいる場所には行きたくない」、「行っても、すぐに飽きてしまう」といった声を保護者の皆さまから聞きます。そこで、ばおでは休日にはBBQ、いちご狩り、マラソン大会やクリスマス会などさまざまな企画を実施しています。皆が一緒なら普段できないことが経験できたり、家族で過ごす休日プランのご提案に一役買っているようです。

最後に障がいを持つ子どもたちの抱えている課題を一人でも多くの方に知っていただくための啓発活動にも力を入れています。障がいというジャンルを耳にすると敷居が高いと感じる方が多いようです。障がいを持つ人と持たない人が、ばおでの活動を通して歩み寄りきっかけになればと積極的にボランティアの受け入れをしたり、バザー販売などを通じて地域との交流も大切にしています。

今後も保護者の皆さまや子どもたちの要望をしっかりと受け止め、お役に立てることを考えながら事業運営に取り組んで参ります。

放課後等デイサービス事業

パオパオくらぶ



児童発達支援管理責任者
千葉 祐樹

放課後等デイサービスって？

利用するためには市区町村の担当窓口や相談支援事業所にまずは相談、受給者証を取得して利用計画の作成などが実施されます。子ども本人だけではなく保護者の不安軽減となる相談なども行います。

パオパオくらぶでは何をしているか

元は障がい児の親子スイミングサークルから出発したパオパオくらぶでは、体の使い方、休日に楽しむ方法、遊びの中から順番や交代のルールを学ぶなどアグレッシブに遊ぶことから将来できることにつながる活動をしています。晴れたら公園、雨が降ったら買い物やおやつ作りといった楽しい経験をたくさんしてもらいます。



障がいを持っている子って

どんなイメージを持っていますか？

大声で叫ぶ、あばれる、コミュニケーションが取れない、全部介助しなくてはいけない、などいろいろあるかと思います。では皆さん、隣の人と考え方、性格は一緒ですか？障がいを持った子どもみんな違います。できることもあれば苦手なこともあり、嫌なことには原因もあり、相手を知るために試したりしています。そうした障がいを持った子どもにできることは何か、生命の安全、生活の充実と向上など大きく言ってしまうと日常生活を送ることです。

自立というと

全てが自分でできなければならないと思いますが、できないことがあっても助けを求める事ができれば自立です。社会に出ると一人ではどうすることもできない場面もあります。そのような時に対応できる方法を経験によって体得し、段階を経て自分でできるようになっていくことも必要です。

これからのパオパオくらぶ

目標は、コミュニケーションの強化と自分でできることを増やす。そしてルールを守れるようになるなど、社会に出て役に立つような目標を立てていますが、実際は遊びの中で培われていくものだと考えています。これからも体を動かし、ルールを守って楽しくストレスを発散するという一石三鳥で活動していきます。

2018年度 放課後等デイサービス評価結果

| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ |
|----------------------------|----|---------------|-----|
| 子どもは通所を楽しみにしているか | 30 | 0 | 0 |
| 事業所の支援に満足しているか | 29 | 1 | 0 |
| 各マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 27 | 3 | 0 |

※ご利用の保護者35名中、ご回答をいただいた30名の集計結果の抜粋です。詳しくは、ぱおのウェブサイトをご覧ください。

パオパオくらぶの一日

【放課後編】

サービス提供時間 月水11:30～17:30
火木金12:00～18:00

～14:00

事務処理・準備

個別支援計画の作成、評価の会議。研修や活動の様子などを話し合います。

14:00

ミーティング

前回の様子や当日の活動内容の確認します。

15:00～

来室

学校が終わって、ヘルパーなどを利用してばおに來ます。

着替え

中高生は、制服から普段着に着替え、服をたたんでカバンに入れて荷物はロッカーに置きます。

自由遊び

場面の變化(学校から帰る→パオで遊ぶ)に対応が苦手な子も考慮して遊具でのんびり遊ぶ時間です。

お集まり

その日のメンバーを意識してもらい、名前を呼んで返事をします。活動を写真カードで伝えます。

お出かけ

晴れたら公園で遊具遊びや鬼ごっこ、フリスビーやシャボン玉などで遊び、雨の日は買い物やホットケーキなどのおやつ作りをして過ごします。

16:00頃

おやつ

甘い物、しょっぱい物、感触の違う物など3種類を食べてもらい、食べることへの興味や食べられるものが増えるようにしています。水分補給は麦茶、おかわりは晩御飯に影響がないよう1個選んでもらいます。

17:30

おしまい

お迎えに來た保護者の方に当日の様子をお伝えします。その後、記録に残し反省会を実施します。

18:00

【1日活動編】

サービス提供時間 10:00～16:00

春はクッキングと少し長めのお出かけ、夏はプール、冬は室内で遊べる場所へ公共の交通機関などを利用しながら思いっきり遊びます。



移動支援・居宅介護支援事業

P's ステーション



P's ステーション責任者
神原 泰子

資格を持つヘルパーのさまざまな支援

障がいを持つ子どもたちは、ご家族の支えのなか日々の生活を送っています。しかしご家族にも仕事や多くの用事があり、子どもの成長とともに介助することが難しいときもあります。そこで資格を持つヘルパーのさまざまな支援により、ご家族の負担を少なくすることができます。

移動支援

学校やご自宅への送迎、そしてばおでの外出や買い物を楽しむための移動などは、放課後等デイサービス事業のパオパオくらぶのスタッフが対応しています。

障がいを持つ子どもたちは、一歩外に出ると苦手なことがたくさんあります。音がより大きく聞こえたり、体温調整が難しく気温の変化も辛かったりします。時には限界を超えて嫌になってしまい、大きな声を出して泣いたり、暴れてしまう時があります。それでもやっつけてはいけないこと、上手に出来たことをきちんと伝えていき、経験を積み重ねていくことで、苦手なことも徐々に乗り越えられるのです。

逆に嬉しさの余り思わず大きな声が出てしまうといったこともあります。そのような時には「静かに」とは言わずに「楽しいけれど、少し小さい声でね」と声掛けすると、静かに楽しく過ごせます。

居宅介護支援

家での食事や排せつの介助、相談などの生活全般にわたる援助です。

ヘルパーと家で過ごすことで家族がいなくても留守番が出来たり、ご飯を食べて過ごしてもらう等の介助によって、生活リズムの維持にも繋がっています。

他にも普段から髪を切ること困っている子どもたちがたくさんいます。バリカンの音が嫌い、耳の後ろを触られることが苦手などでずっと座ってられないため、床屋さんや美容院に断られてしまうことが多いようです。そこで、ばおでは提携先の美容院がお休みの日を利用して、貸し切りで髪を切ってもらう活動もしています。

これからも出来ることや、楽しい経験を大切にしていきます。そして、いつもと変わらない生活を送りながら地域で安心して過ごしていただくために、一つひとつの支援で経験したことを積み重ね、先に繋がる支援を提供していきたいと思っています。



2018年度 サービスご利用件数

| | |
|--------|------|
| 移動支援 | 259件 |
| 居宅介護支援 | 43件 |

障がい児・者家族サポート事業 ドニーチョ・ふあーむ・レスパイト



ドニーチョ責任者
戸川 鎮男

活動の幅や参加者の幅を広げる

放課後等デイサービス事業は、法制度の下で運営しています。制度化された公のサービスである反面、ある程度の枠が設けられているのも実情です。そこでばおでは、ドニーチョやふあーむ、レスパイトなどを通して活動の幅や参加者の幅を広げる工夫をしています。

ドニーチョ (Doni~cho!)

ドニーチョとは、自主事業として行っている休日活動です。会員・非会員を問わず、親子で参加できる活動を行っています。大人も楽しめる行事であるように考えています。また、活動が地域とつながっていくきっかけとなることも大切な要素と考えています。

今年度は、新たにマラソン形式でも駅伝形式でも参加できる大会を開催しました。ドニーチョのコンセプトの中でも“地域”を強く考えたイベントでした。申込方法を外部に広げ、開催場所を葛西臨海公園内と開かれた場で行いました。そして車いすの自走・介助を問わず、障がいの有無を問わず誰でも参加できるようにしました。第1回ということもあり、手探りのことも多く、雪で順延になったりと色々ありましたが事故もなく、無事に開催できました。

今後も、ばおならではのさまざまな企画と挑戦を続けていきます。そして今後は、あれもやりたいこれもやりたいと皆さまから声がかかることも期待しています。



【2018年 実施内容】

- 4月：いちご狩り
- 6月：BBQ
- 7月：夏祭り
- 12月：クリスマス会
- 2月：マラソン大会
- 3月：バスハイク

ふあーむ

ふあーむは、ばおの卒業生による畑仕事を中心とした活動です。月1回第3土曜日に開催しています。育てて食べる、作って販売するという流れを体験し、いつも食べている野菜がどのようにしてできるかを知ることと、働いた結果として報酬を得る喜びを知ってもらうことを目的としています。頑張った報酬として新年会でおいしいものを食べたり、パオルームでカラオケなどを実施しています。

【販売実績】

- ・町内のお祭りで五平餅を販売。(完売)
- ・えだまめ、ジャガイモなどの夏野菜を販売。
- ・クリスマス会でしめ縄、クリスマスリース、五平餅、芋煮などを販売。

【今後の目標】

お祭りなどの行事に出店し、ジャガイモ、大根、ニンジン、枝豆、きゅうり、トマト、パプリカなどの野菜販売に力を入れていきます。



地域専門家育成事業

専門家派遣・実習生受け入れ



作業療法士
戸川 鎮男

専門性を活かして行っている事業

ばおでは専門的な資格をもって働いているスタッフがあります。その専門性を活かして行っている事業があります。一つは地域の学校での専門家相談、もう一つは実習生の受け入れです。相談業務は、特別支援学級・特別支援学校の教員の依頼によって行っています。

専門家相談

主な内容は特別支援教室での①先生方へのアドバイス②保護者へのアドバイス③子どもたちとの交流などです。先生方とお話をする時間があることも、色々な考え方を知ることができる貴重な時間と考えています。就学後の子どもたちの主な生活の場は家庭と学校といっても過言ではないと思います。学校で過ごす長い時間の中でどのような教育を受けて過ごしているのかを知ることは、ばおの活動にも生かせると思っています。そういった内容をばおの職員と共有することでスキルアップにもつながります。また、学校との連携を図るきっかけになれば、より良い対応ができると思っています。

今後も学校側から声をかけて頂けるように、信頼を築いていくとともに、自己の技術・知識の向上に努めなければと感じております。



実習生の受け入れ

ばおには専門職の資格を持った職員がいます。その為、その専門職の養成校から実習施設として認定を受け、実習生を受け入れることができます。

専門職にとって後任の育成は重要な業務の一端と考えています。学生に実際の現場で働くことを経験してもらい、たくさん思考を巡らせてもらうことで、より良い人材育成のお手伝いをしたいと思っています。そこが専門家のできる社会貢献の一つとも考えています。また、実習生を受けるということは、自分達の技術と知識の研鑽にも努めなければならないということです。そうやって、自分達にもプレッシャーをかけつつ、ばおにも利益をもたらしていきたいと思っています。

【2018年度 参加実習生】

| | |
|-------|--|
| 人数 | 146人 |
| 参加者職業 | 保育士、幼稚園教諭、社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士、アートセラピー他 |
| 学校 | 東京福祉専門学校、東京スポーツレクリエーション専門学校他 |

障がい児・者啓発事業

寄付・助成金・ボランティア・広報



障がい児・者啓発事業

担当 小林 大輔

障がい児・者啓発事業について

障がい児・者啓発事業は、ばおの活動を応援してくださる人を増やしていき、社会的な課題を皆さまと一緒に解決していく為に生まれた事業です。現在、企業や団体、個人からの寄付、助成金、ボランティアといったさまざまな応援をいただいています。

2018年度の実績

寄付92件(総額1,312,820円)、物品の寄付46件、新たにボランティアとして56名の方が参加。2018年度もたくさんの方々より、はおの活動を応援していただきました。

応援いただいている企業・団体(敬称略)

| 企業名 | 内容 |
|--------------------|-----------------------|
| ヤフー株式会社 | インターネット募金 |
| 東京ボランティア・市民活動センター | ボランティア募集掲載・運営相談 |
| 小林製菓株式会社 | おいしい高級豆菓子とご寄付 |
| イトーヨーカ堂労働組合アリオ葛西支部 | ご寄付 |
| イオン株式会社 | 幸せの黄色いレシートキャンペーン |
| 江戸川区あさ工房 | 木の材料ご寄付 |
| ソフトバンクモバイル株式会社 | かざして募金 |
| 株式会社インターリンク | 独自ドメイン、レンタルサーバー、10年延長 |
| 日本エンパワメントコンソーシアム | ご寄付 |
| 株式会社サイトスタイル・システムズ | パオルームの防犯カメラご寄付・管理 |
| おき水産物 | ご寄付 |
| 一般社団法人尚友倶楽部 | コミュニケーションスイッチ |

| 団体名 | 内容 |
|----------------|------------------|
| (福)江戸川区社会福祉協議会 | 福祉団体事業助成金(基本助成) |
| (福)江戸川区社会福祉協議会 | 地域歳末たすけあい地域福祉活動費 |
| (福)江戸川区社会福祉協議会 | 福祉団体事業助成金(研修助成) |
| おもちゃ図書館財団 | おもちゃのご寄付・助成金 |

2019年度 NPO法人ばおは、認定NPO法人の取得を目指します！

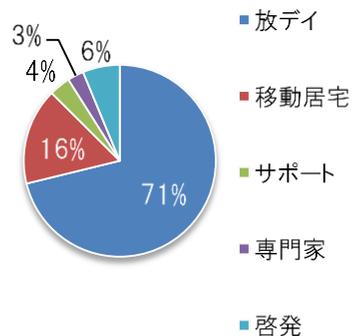
NPO法人ばおは、良くも悪くも柔軟でした。でも、NPOとして、ステップアップしたい！ 信頼のある団体を目指したい！ もっと楽しく、自由な活動がしたい！ そう思い、障がい児・者啓発事業として認定NPO法人の取得を目指します。認定NPO法人になりますと、内閣府の審査が入るので、運営、会計上の信頼が高まることや、ご協力頂いた方々が税制控除を受けられます。

会計報告（2018年度）

収入

| 事業 | 科目 | 収入 |
|--------------|---------------|------------|
| 放課後等デイサービス | パオパオくらぶ | 25,641,355 |
| 移動支援・居宅介護支援 | P'sステーション | 5,866,007 |
| 障がい児・者家族サポート | ドニーチョ、ふぁーむ | 1,286,510 |
| 地域専門家育成 | 専門家相談、実習生 | 983,750 |
| 障がい児・者啓発 | 寄付、助成金、ボランティア | 2,247,766 |
| 総合計 | | 36,025,388 |

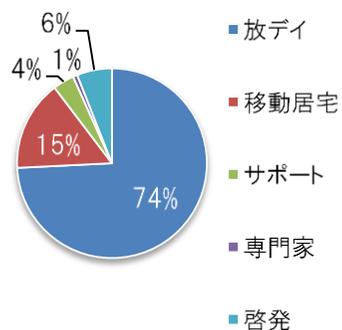
事業別収入比率



支出

| 事業 | 科目 | 支出 |
|--------------|---------------|------------|
| 放課後等デイサービス | パオパオくらぶ | 22,819,094 |
| 移動支援・居宅介護支援 | P'sステーション | 4,750,711 |
| 障がい児・者家族サポート | ドニーチョ、ふぁーむ | 1,110,519 |
| 地域専門家育成 | 専門家相談、実習生 | 232,500 |
| 障がい児・者啓発 | 寄付、助成金、ボランティア | 1,832,357 |
| 総合計 | | 30,745,181 |

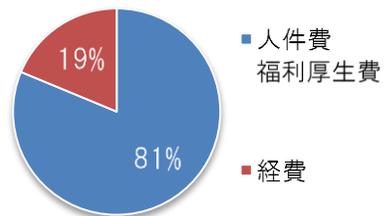
事業別支出比率



支出科目

| 科目 | 支出 |
|-----------|------------|
| 人件費・福利厚生費 | 24,770,304 |
| 経費 | 5,974,877 |
| 総合計 | 30,745,181 |

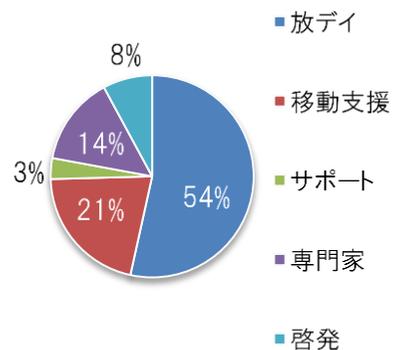
支出科目別比率



利益

| 事業 | 科目 | 利益 |
|--------------|---------------|-----------|
| 放課後等デイサービス | パオパオくらぶ | 2,822,261 |
| 移動支援・居宅介護支援 | P'sステーション | 1,115,296 |
| 障がい児・者家族サポート | ドニーチョ、ふぁーむ | 175,991 |
| 地域専門家育成 | 専門家相談 | 751,250 |
| 障がい児・者啓発 | 寄付、助成金、ボランティア | 415,409 |
| 総合計 | | 5,280,207 |

事業別利益比率



2018年度は、おかげさまで6事業全てで黒字になりました。2019年度は、法制度によって収入が変わってくる放課後等デイサービス事業、移動支援・居宅介護支援事業以外にも障がい児・者啓発事業で認定NPO取得を目指し、法制度に頼らない他事業にも力を入れていきます。それにより収入を安定させ、事業の継続と成長を図ります。

**NPO PAO
ANNUAL REPORT
2019**



NPO法人ぱお 事業報告書 2019

NPO法人 ぱお
〒134-0091 江戸川区船堀1-1-2
電話03-3689-4642

